

第1号議案

令和3年度 事業報告書承認の件

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

一般社団法人全国牛乳流通改善協会

I. 事業の実施内容

令和3年度の社会環境は顕在化する人口減少や超高齢化の進行から、地域の疲弊、それに伴う小売店の衰退・淘汰、加えてコロナ禍による更なる労働人口の減少が大きな社会問題となり、長引くコロナ禍は未だ収束の見通しもつかず、物流のラストワンマイルを担う牛乳販売店としても、影響は避けて通れない状況下におかれた。

このような状況の中、計画に沿った事業の推進に向け、理事会をはじめとした会議にはオンライン会議方式を積極的に導入し、状況に応じた対応策を遅滞なく協議、決定して効率的な事業運営に取り組んだ。なお、事業会議「地区別会議」はコロナ感染予防の観点から実施を見送った。

1. 加盟店サポート事業

(1) ミルクカレンダーの制作・斡旋事業

①内容：料理研究家:ワタナベマキ氏の監修により、簡単で栄養があり美味しい家庭料理として、牛乳をたっぷり使った「からだよろこぶ12レシピ」を紹介し、合わせて牛乳に含まれる栄養素とその効能を知ることによって食生活改善、健康増進、そして、牛乳の料理への利用拡大につなげる。

表紙裏及び情報ページには救急時情報シートの機能や詐欺などへの注意メッセージを盛り込み、牛乳宅配の利用顧客に多い高齢者への見守り活動など宅配ができる便利機能を伝えている。

カレンダーの企画・制作および流通は全改協主体で行い、都道府県流改協、普及協会へは有償斡旋とした。なお、日付欄に書き込みができるよう大きなスペースが欲しいとの要望に応えるページ構成とした。

②時期：令和3年5月～12月

③実績：発行部数 1,211,621部

発行売上 49,414,871円（送料、店名印刷代を含む金額）

各都道府県別発行部数（窓口は流改協、普及協会等）

都 道 府 県	発 行 部 数	都 道 府 県	発 行 部 数
北 海 道	57,300	滋 賀	17,100
青 森	9,400	京 都	21,600
岩 手	14,100	大 阪	23,200
宮 城	27,770	兵 庫	50,810
秋 田	13,000	奈 良	5,300
山 形	24,600	和 歌 山	7,400
福 島	14,400	鳥 取	*93,170
茨 城	*34,801	島 根	*25,600
栃 木	32,900	岡 山	29,130

群馬	29,400	広島	36,810
埼玉	18,150	山口	21,400
千葉	58,900	徳島	19,230
東京都	55,230	香川	9,070
神奈川県	51,050	愛媛	21,880
山梨	*18,600	高知	*12,100
長野	21,670	福岡	47,800
新潟	61,300	佐賀	13,150
富山	12,100	長崎	6,850
石川	18,000	熊本	30,400
福井	5,600	大分	10,900
岐阜	15,200	宮崎	*13,600
愛知	30,800	鹿児島	12,300
三重	28,400		
静岡県	*30,150	合計	1,211,621

(流改協組織がない*印の各県は牛乳普及協会等を経由して利用)

(2) 食品等流通合理化緊急対策事業

加盟店の設備・機器導入費用の軽減を図るため、公益財団法人食品等流通合理化促進機構の「食品等流通合理化緊急対策事業」の活用を案内した。

今年度はHACCP衛生管理の本格施行により冷蔵庫、保冷車など配達車両の新規導入に対する制度利用をすすめたが、年度内での活用実績はなかった。利用申請から認定までには約1ヶ月程度の期間が必要であり、計画的な制度の活用を更に薦めていく。

(3) サポート事業検討委員会

マーク団体から選任された委員により加盟店のための新たなサポート事業の企画・検討を行い、検討結果を提案書として理事会に答申した。

◇検討委員会の提案

*提案の趣旨

牛乳販売店業界において唯一の全国組織として、加盟店の経営品質向上のため、経営に直結する各種法規や制度の理解と対応をサポートするため、研修事業を最優先事業とし、併せて加盟店メリットに直結する事業の提案を行う。

*実施事業と優先度(ABC)

- A・研修事業・・・公的制度・法律の内容理解及びSDGsの取組推進へのサポート
- A・対外窓口・・・全国組織としての立ち位置を活用した関係先との交渉窓口機能
- B・仲介事業・・・他の事業者によるサービスや仕組みの活用、紹介
- C・斡旋品事業・・・すべての加盟店が利用できる業務関連品等の選定、案内

* 取組み事業

事業区分	取組案件	内容	方法	役割
				全改協
研修事業	①食品衛生法一部改正 ・ HACCP衛生管理への対応	制度理解と手引書の実践をサポート (実施計画の作成例他)	パワーポイント資料と 音声解説	①実践モデル店の紹介 ②説明会開催時の講師手配
	・ 許可業種の改訂、営業届出制度新設	制度理解と登録システム運用方法	パワーポイント資料と 音声解説	①行政提供の動画手配 ②手続き支援
	②容器包装リサイクル法	制度理解と取組方法について	パワーポイント資料と 音声解説	①解説資料作成 ②手続方法説明と支援
	③インボイス制度(適格請求書保存方式)	制度の理解と登録方法	パワーポイント資料と 音声解説	①資料の提供 ②説明会開催時の講師手配
	④SDGsの取組	取組テーマの決定と達成目標設定	パワーポイント資料と 音声解説	宣言・広報活動
仲介事業	求人サイト利用特典	加盟店向け求人サイトの特典設定	サイト事業者へ紹介	タイアップ交渉
	リース契約の取次	※車両リース契約の紹介	⇒三菱オートリース ⇒オリックス自動車	取次窓口機能
幹旋事業	①業務効率化対策品 ②マーク共通使用備品	適宜選定して案内	提供方法検討	申込受付と請求業務

* 先行特別対策として

6月に本格施行されたHACCPの考え方を取り入れた衛生管理に対応するため、最も重要となる温度管理に必要な温度計(赤外線放射温度計)を加盟店全店に1基無償提供し、追加の幹旋要請には実費にて提供した。

2. 優良事例店の発表および表彰事業

当事業は昨年度に続き発表会の通常開催の見送りを余儀なくされ、書類による一次審査の後に行なった経営専門家による訪問調査結果に基づく二次審査をもって最終結果とし、オンライン方式で表彰式を開催した。

各賞に輝いた入賞店の取組は、コロナ禍における対応はもとより、地域密着を旨とし、お客様満足を意識した経営努力や工夫を実行している点が共通しており、疲弊する地域において、必ずしも規模を求めることにはこだわらず、実施可能なサービスの提供を踏まえた経営は、全国の加盟店の参考になると共に励みにもなる内容であった。

各店の取組内容は、表彰式の動画と共に全改協ホームページに掲載して共有化を図った。

◇第33回各賞入賞店

入 賞 店				代 表 者
青 森	最優秀賞	農林水産大臣賞	株式会社 南山デイリーサービス	南山 泰政
北海道	優秀賞	農林水産省 畜産局長賞	株式会社 スギヤマ	杉山 公一
滋 賀	優秀賞	一般社団法人 Jミルク 会長賞	有限会社 一実牛乳	多々良 佳弘
東 京	優秀賞	一般社団法人 全国牛乳流通改善協会 会長賞	株式会社 浏江乳業	下敷領 明
東 京	優秀賞	一般社団法人 全国牛乳流通改善協会 会長賞	株式会社 府中ミルクセンター	紀平 録美
石 川	優秀賞	一般社団法人 全国牛乳流通改善協会 会長賞	森永牛乳的場販売店	的場 賢弘

3. 事業会議（地区別会議）

今年度事業の詳細な説明のため全国5か所で開催を計画したが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とし、都道府県流改協事務局並びにマーク団体メーカー担当者に加え、今年度はマーク団体代表者に対しても書面による事業内容の説明を行った。

4. 広報関連事業等

(1) 機関紙「全改協だより」

全改協事業の内容を加盟店に周知し、販売店経営に関係する酪農乳業の各種情報、牛乳乳製品に関する情報及び経営の近代化を図るための資料や情報、特にコロナ禍を乗り切るための各種公的助成制度の内容を掲載した。

当年度は加盟店への配布の効率化のため一部メーカーの協力により、加盟店とメーカーとの通信ネットワークを活用したデーターでの配信を実施した。

第94号（4/28）・・・令和2年度の事業進捗報告、令和3年度の事業の方向性、サポート事業推進委員会の報告、インボイス制度について、容器リサイクル法について

第95号（8/4）・・・第44回通常総会の報告、令和3年度事業の概要、食品衛生法改正について、都道府県流改協事務局名簿

第96号（10/21）・・・政府等助成金・支援策について、サポート事業検討委員会の進捗について、インボイス制度について

第97号（1/1）・・・新年ご挨拶、令和3年度全改協事業の進捗状況、サポート事業検討委員会結果報告、年末年始の飲用牛乳需要拡大への協力要請、PCBの安全な処理確認について

第98号（3/31）・・・第33回牛乳販売店優良事例発表について

(2) インターネットを使った広報活動

情報の周知並びに提供の迅速化、牛乳販売店による宅配の活性化を図るためにホームページを使い、関連情報を掲載した。

また、年頭の会長メッセージに加え、年末年始等での生乳の大幅需給緩和による処理不可能乳の発生回避に向けた需要拡大への協力要請を会長メッセージとして動画で発信した。

(3) 関係団体との連携

酪農乳業界発展のために、関係団体と常時連携をとり、情報交換、協議、検討を行った。

①一般社団法人Jミルクの正会員として理事会、マーケティング専門部会に出席した。

Jミルクが提供する新型コロナの影響下における、生乳生産の需給緩和への対策事業(牛乳の消費拡大)に対応した取組を加盟店に共有した。

②公益財団法人 食品等流通合理化促進機構の理事として理事会に出席し、他業界団体との交流に努めた。

例年参加申請する優良経営食品小売店等表彰事業は、令和2年度の当会優良事例発表事業の中止により推薦対象店が無く参加を見送った。

5. 遠隔会議システムの活用

前期に導入のZOOM会議システムの本格活用をすすめ、リモート方式による各種会議を開催、理事会においては遅滞なく協議事項の審議・決定の仕組みを構築した。

6. SDGsの取組

加盟店が行う日々の事業活動は、地域コミュニティとの連携や経済活動などを通じてなんらかの形で社会に貢献し、国連が定めるSDGsの未来のための17の世界目標と169のターゲットへの繋がりを持っている。

この世界的な取り組みに社会の一員として参加・貢献を目指すために、自店の事業活動がSDGsのどの目標に対してどのように関わっているかを知ることが必要であるとし、そのためのツールとして牛乳販売店のための「SDGsチェックリスト」を作成して加盟店への次年度提供準備を進めた。

以上

令和3年度 主な会務・事業等の概要

【全改協】

令和3年	4月16日	監事監査
	4月20日	第1回理事会 (Web会議)
	6月4日	第44回通常総会 (会場&Web)
	6月4日	第2回理事会 (会場&Web)
	7月16日	第1回サポート事業検討委員会 (Web会議)
	8月6日	第3回理事会 (Web会議)
	8月20日	第2回サポート事業検討委員会 (Web会議)
	9月17日	第3回サポート事業検討委員会 (Web会議)
	10月15日	牛乳販売店優良事例第一次審査会 (Web会議)
	10月22日	第4回サポート事業検討委員会 (Web会議)
	11月12日	第4回理事会 (会場&Web)
	11月19日	第5回サポート事業検討委員会 (会場開催)
	12月03日	牛乳販売店優良事例第二次審査会 (会場開催)
令和4年	2月10日	第5回理事会 (Web会議)
	2月18日	第33回優良事例発表オンライン表彰式 (Web)
	3月18日	第6回理事会 (Web会議)
	3月30日	第7回理事会 (書面決議)

【Jミルク】

令和3年	5月13日	監事監査に担当役員Web出席
	5月27日	第1回理事会に担当役員Web出席
	6月10日	通常総会及び第2回理事会に担当役員Web出席
	7月19日	第3回理事会に担当役員Web出席
	9月8日	第1回マーケティング専門部会担当職員Web出席
	9月29日	第4回理事会に担当役員Web出席
	10月20日	第5回理事会に担当役員Web出席
令和4年	1月20日	第6回理事会に担当役員Web出席
	2月9日	第2回マーケティング専門部会担当職員Web出席
	2月21日	第7回理事会に担当役員Web出席
	3月10日	第2回臨時総会に担当役員Web出席

【乳業団体】

令和4年	1月6日	合同賀詞交歓会は出席人数を絞り実施 (欠席)
------	------	------------------------

【食品等流通合理化促進機構】

令和3年	6月3日	第1回定例理事会Web出席
令和4年	3月3日	第2回定例理事会Web出席

以上